

The background of the slide is a light gray gradient with several realistic water droplets of various sizes scattered across it. The droplets have highlights and shadows, giving them a three-dimensional appearance.

信州上田学・上田探検隊 6班

6班のまちなか探検

エリア：海野町商店街周辺（商店街・住宅地）

ねらい：中心的な観光地ではない地域の街並みの特徴をとらえる

どんな町：誕生は今から420年程前、真田昌幸が天正11年（1583）上田の地に城を築く際に、住人を移住させて町並みを作らせたのが起源。

江戸時代には北国街道上田宿の宿場として繁栄した。

明治21年、上田駅開業に伴って商圈が拡大され、街が賑わい、上田の中心街が確立。現在も昔ながらの建物が存在し、風情の感じられる街並み。住宅地の中にも飲食店が多くある。



明治10～152年！ 歴史ある呉服屋「すや呉服店」

海野町商店街にある「すや呉服店」。キャッチフレーズが「信用と奉仕の店」のこの呉服屋さん、なんと創業は明治10年だそうです。2019年現在は明治152年にあたるので、140年以上も続いている歴史あるお店です。高齢者婦人服を主に取り扱っているそうで、ぜひこの上田を支えてきたお母さん世代の方に行ってほしいと思います。また、若い世代の方も、お母さんへのプレゼントの洋服を買いに訪れてみてほしいです。



アーケードに隠された歴史

商店街に突如出現する真っ黒の和風建築。いったい何のための建物だったのか、なぜ真っ黒になってしまっているのか、たくさんの謎が浮かんできます。他の近代的な建物の中では目立つはずのその和風建築ですが、現在はテナント募集のシャッターの上から少しだけ顔をのぞかせるのみとなっています。いかにも歴史を感じる建物が隠されてしまっている事実が悲しいと感じました。アーケードの向こう側には、一体どんな姿が眠っているのでしょうか。



写真のタイトル

木造ベンチ

説明文

海野町商店街の中にあるベンチ。一見ただのベンチだが、右上の解説をみると、長野県産のカラマツで作られていると書いてある。一か所だけでなくいくつかの場所に置かれているので、ぜひ疲れたときは活用してほしい。



写真の
タイトル

イル チェーロ

説明文

このお店はイタリアン料理店である。上田映劇がある通りにある。歴史的な建物がある中、このようなおしゃれなお店がありとてもびっくりした。実際見ても高級そうなお店だが、機会があれば行ってみたい。



写真のタイトル 花やしき通りのおしゃれな看板

説明文

花やしき通りに入ってすぐ。上田映劇の向かいにあるお店の看板。立体で手作り感満載。かわいかった。他にもあるのか気になった。



写真のタイトル 上田市のマンホール

説明文

上田市のマンホールを海野町で発見。「真田六文銭」を用いた六花文と市の花の「つつじ」のデザイン。マンホールは地域でそれぞれデザインが違うから面白い 他のデザインもあるみたいなので探してみたい。

まとめ

- 路地裏に入ると、意外にたくさんのお店があった。商店街以外にも目を向けるべき。
- 写真を撮ろうと思って歩くと、普段目が行かないようなところにも気づくようになり、街の魅力に気づきやすくなる。
- 昔ながらの町並みが上田の特徴。その特徴を生かした町づくりをして、住民や観光客に上田の魅力に気づいてもらうべき。

ご清聴
ありがとうございました